

IEC用モノポーラコード Sシリーズ

TE111_2025.11

【禁忌・禁止】

1. 可燃性麻酔剤、可燃性ガス、可燃性液体や物質（消毒液等の気化ガス、乾燥したガーゼ）などが存在する所および酸素や亜酸化窒素などの可燃性ガス濃度が高くなっている所で使用しないこと。[引火・爆発による火災の発生や、患者及び術者に重大な損傷を与える可能性がある。]
2. 心臓ペースメーカー又はペーシング機能を有する体内植え込みの除細動器を使用している患者には使用しないこと。
3. 本品はモノポーラ端子専用のケーブルであり、モノポーラ端子以外の端子に接続しないこと。[モノポーラ端子以外に接続すると、予期せぬ出力電力が発生し、重篤な有害事象を引き起こす可能性がある。]
4. 本品はellman-Japan社製の電気手術器（サージトロンおよびサージネクス）以外とは接続して使用しないこと。
5. 本品を改造したり分解しないこと。
6. 組合せて使用する電極類以外の電極等を接続して使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造

本品は電気手術器とモノポーラ器具を接続するために使用するコードである。クイックコネクターと吸引ハンドル用の形状がある。

1) クイックコネクター



2) 吸引ハンドル用



2. 原理

電気手術器とモノポーラ器具に接続し、電気手術器から出力された高周波電流をモノポーラ器具に供給する。

【使用目的又は効果】

本品は、電気手術器とモノポーラ器具の間にて信号等を伝達し、電源を供給することで両者の接続を延長するために用いる。

【使用目的に関連する使用上の注意】

本品はellman-Japan社製の電気手術器（サージトロンおよびサージネクス）以外と接続して使用しないこと。

組み合わせで使用する電気手術器

販売名	認証番号
サージトロン	219AIBZX00091000
サージネクス	307AIBZX00036000

組み合わせで使用する電極類

	商品名	認証番号
クイックコネクター	クイックハンドピース	219AIBZX00096000
	モノポーラフォーセップ	304AFBZX00067000
吸引ハンドル用	チューブコネクター	219AIBZX00096000

【使用方法等】

1. 使用前

- 1) 使用前に本品の外観を点検し、各部に破損・傷・著しい汚れ、断線等の異常が無いことを確認する。異常がある場合は使用せずに廃棄すること。
- 2) 使用前に、使用者が必ず洗浄・消毒・滅菌を行うこと。

2. 使用方法

クイックコネクター

- 1) 本品のソケット部にクイックハンドピースまたはモノポーラフォーセップを接続する。
- 2) 電気手術器の電源を切った状態で、本品プラグ部を電気手術器本体のモノポーラ接続口に接続する。
- 3) 電気手術器を作動させて処置を行う。操作方は電気手術器及びモノポーラ器具の取扱説明書または添付文書に従うこと。

吸引ハンドル用

- 1) 本品のチューブコネクター接続部のネジ部分を、吸引ハンドルのチューブコネクター接続口に挿入し、締め付ける。この時、チューブコネクター接続部のネジ部分の先端が電極に接続するように締め付けること。（ネジ山が潰れたり、電極を破損する可能性があるため、強く締め付けすぎないこと。）
- 2) 電気手術器の電源を切った状態で、本品プラグ部を電気手術器本体のモノポーラ接続口に接続する。
- 3) 電気手術器を作動させて処置を行う。操作方は電気手術器、接続する吸引凝固ユニット、モノポーラ電極類および吸引器の取扱説明書または添付文書に従うこと。

3. 使用後

- 1) 電気手術器の電源を切り、電気手術器のモノポーラ接続口から本品を取り外し、組合せて使用していた電極類を取り外す。
- 2) 使用後すぐに、本品を規定の方法で洗浄・消毒・滅菌し保管する。

【使用上の注意】

1. 本品は、使用するために必要な知識、技術に習熟した医師が使用するよう設計されているため、本添付文書ならびに使用する電気手術器及びモノポーラ器具の添付文書・取扱説明書等に記載されている全ての注意、指示を熟読し遵守して使用すること。
2. 使用前に、破損・変形・亀裂・傷・摩耗、断線等がないかを点検し、破損等が確認された場合は使用しないこと。
3. 各部を接続する際は、電気手術器本体の電源が切れた状態になっていること、接続部が完全に乾いていることを確認してから接続し、確実に接続されたことを確認すること。[感電・故障防止のため]
4. 破損、断線等の原因になり得るので、使用時には必要以上の力を加えないこと。
5. 本品及びモノポーラ器具が患者または他の電気機器やそのケーブルの導体に接触しないように注意すること。また、一時的に使用しない場合は、患者から絶縁された状態にしておくこと。[熱傷及び電気ショックの恐れがあるため]
6. 本品を電気手術器から取り外す際は、プラグ部分を持って取り外し、ケーブルを持って引き抜いたり無理な力をかけないこと。
7. 本品、その他の併用機器及び患者に異常がないことを常に監視し、異常が認められた際には、患者に安全な状態で適切な処置を講ずること。

【保管方法及び有効期間等】

直射日光および水濡れを避け、清潔な場所で保管すること。

周囲温度の範囲: 0°C ~ 55°C

相対湿度の範囲: 10% ~ 90% (結露のないこと)

気圧の範囲 : 500hPa ~ 1060hPa

【保守・点検に係る事項】

1. 洗浄・消毒

各施設で定められた基準に従って本品を洗浄・消毒すること。

洗浄・消毒方法の一例

- 1) 血液や組織等の付着物がなくなるまで、適切に用手洗浄もしくは器械洗浄を行う。
- 2) 洗浄剤の取扱説明書に従って洗浄液を準備し、洗浄剤の製造元が指定する方法で希釈し本品を洗浄する。強い酸性又はアルカリ性の薬液は使用しないこと。
- 3) 洗浄液から取り出した後、無菌水で完全に洗い流す。
- 4) 消毒剤の取扱説明書に従って消毒液を準備し、消毒剤の製造元が指定する規定時間を遵守し本品を消毒する。
- 5) 消毒液から取り出した後、本品に消毒液が残らないように無菌水で完全に洗い流す。
- 6) 洗浄・消毒後は本品を完全に乾燥させる。

2. 滅菌方法

オートクレーブ滅菌

- 1) 金属製の器具に接触しないように本品を滅菌コンテナに入れ、滅菌を行う。
メーカー推奨滅菌条件:
滅菌温度 121°C
滅菌時間 15分
- 2) 滅菌サイクル完了後、本品をコンテナから取り出し、室温になるまで冷ます。
- 3) 本品を完全に乾燥させる。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者: 株式会社ellman-Japan

〒550-0003 大阪府大阪市西区京町堀一丁目8番33号

TEL:06-6448-2511 FAX:06-6448-2522

<https://www.ellman.co.jp>

hello@ellman.co.jp

製造業者: シーンズテック (日本)